



越前町
ECHIZEN

2013. 8. 1
vol.33

議会だより



「二十八の瞳」が町政に注目
(四ヶ浦小学校3年生全員が議場の見学に)

おもな内容

- ☆新町長に直撃インタビュー …………… 2～3
- ☆6月定例会報告 議案審議…………… 4～5
- ☆いっぱい質問に5人が登壇…………… 6～10

- ☆総務文教厚生常任委員会研修報告 ……………11
- ☆議会の動き・編集後記……………12

発行・越前町議会 発行責任者・議長 安井賢二 編集・議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0778) 34-8712 ・ (0778) 34-8726
メールアドレス: gikai@town.echizen.lg.jp

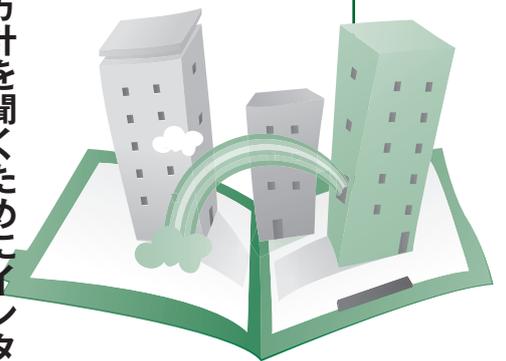


直撃インタビュー

新町長に聞く

議会広報特別委員会では、町政に対する内藤町長の方針を聞くためにインタビューを企画しました。

内藤町長の穏やかな中にも熱い思いが伝わってくる対談となりました。



町長 まず、町長のプライベートな部分に触れてみたい。公務以外の時間、つまり余暇をどのように過ごされているか。

町長 正直言って余暇というものはほとんどない。今までは家の外回りのこととか雑用をやっていたが、町長になってからは、土日にもなんらかの公務、行事があるので全くできない。しかし、時間があるときには、集落の行事にはできるだけ参加するよ

うにしている。
好きなことは、音楽鑑賞と読書。読書は特に科学・歴史関係が好き。

町長に就任されてから4ヶ月余り。ご自身の生活の中でどのような変化があったか。

町長 気持ちの持ち方が変わった。1日24時間・365日、常に公人としての意識を必然的に持たなければいけないという立場で、町民の代表であると

いうことが常に頭の中にあり、町民の期待をひしひしと感じている。それに対してしっかりと目を向けて行かなければならないと思う。また、今まであまり気に留めなかった越前町内での出来事などが気になるようになった。

町政をチェックする側からされる側になつて、どのように感じているか。



町のどこかで元気ができれば、
全体に良くなっていく。

町長

町を良くしたいという思い、町民のためを思う気持ちちは同じ。議会と一緒に両輪のごとく進めていけば問題ないと思っている。執行する側とチェックする側、適度な緊張感と協力が相まっていけばいいと思う。

町長のスローガン「公正で公平な町政の実現と明るく住みよいまちづくりに取り組む」とは、具体的にどのようなか
とが。

町長

公平、公正は当たり前のこと。偏った政策・行政運営はしない。地元が潤うような政策を進めていきたいし、最終的に説明責任を果たせるようになっていく。

私の進める政策に反対もあるかもしれないが、自信をもつてやっていることを見ていただきたい。

町長

今、一番に進めていきた
い政策は。

デフレからの脱却、アベノミクスと言いながら我々はその恩恵に預かっていない。過疎化の解消、豊富な観光資源を活かした滞在型の観光を進めていきたい。町のどこかで元気ができれば、全体に良くなつていくと思う。

今後の越前町をどのよ
うにしたいか。

町長

越前町に限らず超高齢化の時代が来る。その時に今までどおりの生活ができるのか不安だと思ふ。若い世代の支えに頼るだけの社会保障が成り立つわけもないので、そういうときでも安心して豊かな老後が送れるような社会にしたい。

産業にしても高齢化対策、少子化対策にしても越前町の中で自己完



結型を目指したい。具体的にはこれから二つ
つ実現していく。

最後に、議会に対して
何か言いたいことは。

町長 自分自身も議員時代に思ったことだが、議会から町民に対して今議会がどのような動きをしているのかわかるように発信して
いてほしい。

6月定例会報告

子ども医療費の助成を拡充

召集 6月18日
会期 4日間
(18日～21日)

町長から平成25年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算、事業会計補正予算7議案のほか、条例の制定・改正3議案など合計13議案が提出されました。

条例の制定・改正

・越前町子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援法により、自治体では子ども・子育て会議を設置することが努力義務となったため、越前町子ども・子育て会議の組織及び運営に関して必要なことを決めました。

・丹南都市計画事業気比庄土地区画整理事業施行規程に関する条例

気比庄外地係(旧朝日中学校跡地)における土地区画整理事業の施行に伴い、土地区画整理法に基づき必要なことを定めました。

・越前町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正

助成対象は0歳から小学3年生までですが、小学4年生から中学3年生は所得税非課税世帯のみを対象でした。今回の改正で所得制限なしで、全員が助成対象となります。

ただし、小学1年生から中学3年生までは従来どおり一部自己負担があります。

6月定例会提出議案

全会一致で可決、承認、同意しました

報告第11号	平成24年度越前町一般会計繰越明許費繰越計算書
議案第66号	越前町子ども・子育て会議条例の制定について
議案第67号	丹南都市計画事業気比庄土地区画整理事業施行規程に関する条例の制定について
議案第68号	越前町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について
議案第69号	平成25年度越前町一般会計補正予算(第2号)
議案第70号	平成25年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第71号	平成25年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案第72号	平成25年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案第73号	平成25年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
議案第74号	平成25年度越前町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
議案第75号	平成22年度越前町上水道事業会計補正予算(第1号)
議案第76号	公有水面埋立に関する意見について
議案第77号	平成24年度(繰)建設機械整備費補助事業(除雪ドーザ購入)物品売買契約について

項目	事業名	補正額	説明	担当課
民生費	子ども医療費助成事業	594万9千円	新たに小学4年生から中学3年生まで全員が助成対象 ただし、小学1年生から中学3年生は一部自己負担あり	子育て支援課
	予防接種事業	480万円	赤ちゃんの先天性風しん症候群の発生を予防するため、 妊娠を希望する女性やその夫などに対し、風しん予防接種費用の一部を助成(助成額6千円)	健康増進室
農林水産業費	水田営農条件整備事業	3億456万5千円	J A越前丹生に対して米の低温貯蔵管理倉庫の 建設費用の補助	農林水産課
	農業体質強化基盤整備事業	4500万円	農地及び農業施設の整備(水路改修、農道舗装など) 今回は織田地区の5力所の農道舗装	
商工費	観光まちなみ魅力アップ事業	419万8千円	越前がに、越前水仙、越前焼の魅力を活かし、体験型の着地観光で観光客の増加を図る	商工観光課
土木費	社会資本整備総合交付金事業	1910万円	朝日小学校の通学路である町道宝泉寺グラウンド線(内小学校前の250m)の歩道整備	建設課
教育費	小学校・中学校管理一般事業	8660万円	学校施設の老朽化等に伴う修繕費	学校教育課
	朝日図書館事業	2023万4千円	図書館システムの更新等	町立図書館

6月議会 議案審議

赤ちゃんの先天性

風しん症候群の発生を予防するため、妊娠を希望する女性などに対し、

予防接種費用の一部を助成する

問 風しん予防接種助成の周知の方法は。

答 広報・ホームページ・婚姻届や妊娠届の窓口・町内医療機関・チラシ等でお知らせする。

問 もう一步踏み込んでもメールを送るなどできないか。高齢者の肺炎球菌ワクチンなども先進的なのに周知されていないように感じる。

答 妊婦検診時に分かっていた場合には、直接お知らせしたいが、広範囲なので新聞などの媒体を使って周知していきたい。



子ども医療費の助成対象を新たに、小学校4年生から、**中学3年生まで全員を対象にする**

町 これまでは0歳から小学3年生までは全員に助成していた。小学4年生から中学3年生にも助成していたが、制限があり所得税が非課税世帯のみに助成していた。

問 これからは制限はないのか。

町 小学1年生から中学3年生は、一部自己負担があるが、全員を助成対象とする。

米の低温貯蔵管理をするJAに対してラック倉庫建設費用を補助する

補助金
3億450万円

問 JAに対して多額の補助が行われる。

答 外国産米に価格ではかなわないが、米を輸出するということを検討・研究すべきではないか。攻めの農業を研究してほしい。

問 品目によつては果物など輸出しているものもある。JAでは米に限らず野菜も品質には自信を持っている。前向きに検討してもらえよう働きかけていく。

問 官民共同でお願いしたい。



学校修繕のその後…
夏休み明けから
快適な環境で

問 学校の空調関係の進捗状況は。

答 7月上旬に発注。夏休み期間中に工事を行う。

問 2学期からは快適な環境で学校生活を送れるようになるので、熱中症などの心配も少なくなる。

答 トイレの洋式化で対象とならなかった学校があったと思う。できれば対象外となった学校も早急に対応してほしい。

問 補助対象に至らず対象外となった学校があったが、対応できるよう検討していきたい。



一般会計補正予算 10億円に迫る

当初予算は、町長・町議会議員選挙のため骨格予算でした。6月補正は、内藤町長の公約である「明るく住みよいまちづくり」に向けた新規事業などの政策的経費を計上した「肉付け予算」となっています。また、「地域の元気臨時交付金」を活用した国庫補助事業及び町単独事業を積極的に計上し、国の緊急対策と歩調を合わせ、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることに配慮して編成されました。よって、6月一般会計補正予算額は9億6千万円、補正後の予算総額は122億6千万円となりました。

【一般会計補正予算の主なもの】

項目	事業名	補正額	説明	担当課
総務費	旧織田コミュニティセンター解体・跡地整備事業	2 8 2 5 万円	旧織田コミュニティセンターの解体後の跡地整備費用	監理課
	本庁舎等財産維持管理事業	1 3 4 8 万円	主に集会施設維持管理費用 血ヶ平地区集会施設改修(内外装・エアコン設置) 奥糸生地区集会施設合併処理浄化槽設置(トイレ改修)	
	入札管理事業	9 8 0 万 8 千 円	電子入札導入に係る経費	
	コミュニティ助成事業	4 4 0 万円	宝くじ助成を財源としたコミュニティ活動への助成 小倉区：遊具の設置 脇谷区：遊具と健康器具の設置	まちづくり課



山野 幹夫 議員

ん質問

社会福祉、老人福祉、 児童福祉について

山野

内藤町長、ご当選おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

内藤町長支援者の一人として言わせていただければ、前町政からの脱却、改革を進めて、心の通った町政をしていただきたい。決して独裁的な行政はしないと約束していただきたい。

どの福祉についても、若干ではあるが6月補正で増額されているが、特に力を注いでいきたいと思っております。

町長

① 障害情報の二元管理化を図ることで、申請者にとって

住宅政策は

山野

住居の基本となるのは住みよい環境が大事であり、特に学校や保育園が近いところにあるとか、交通の便がよいとかなど生活に直結する場所が求められると思うが、町当局の見解は。

観光産業の活性は

山野

観光には、交通アクセスが最も重要であると思う。特に国道の整備が求められているが越前海岸を走る国道305号は、特に茂原地区以南、白浜、高佐、米ノ方面の一部では道路幅が4mもないところがあり、大型バス同士の交差ができず、停滞することが観光シーズンにおいて多々ある。地元の迷惑もあるが、観光地としていかなるのか。

また、合併後毎年観光協会への予算が1割ずつ減らされてきた。不況のせいもあるが、予算のカットで観光PRもままならず、低迷していることは事実であるが、内藤町政においても、今までもおりの方向で進めていくのか。

町長

観光協会への補助金については、町予算全体の見直しの中で進められてきたもので、今後、各地区観光協会の一本化による確固たる推進母体の構築を見据えて、全面的に支援をしていきたいと考えている。

観光産業の活性化を考えると、上のポイントは、第1に豊かな地域資源を活かした交流人口の増大の必要性が

指定管理者 制度を どうする

山野

今の指定管理者制度は、5年前から前町長が押し進めてきたものだが、今では負の遺産としか思えない。

補助金をたくさんつけて指定管理者に委託し、建物や空調関係などの保守・修繕は町が負担するなど、このような話を新町長はどのように受けとめるのか。

町長

今年度、国民宿舎かれい崎荘と露天風呂日本海、及び越前陶芸村文化交流会館の指定管理期間が満了となるが、今後の管理運営については、指定管理者制度も含め、再検討していく。

いずれにしても、観光産業の活性化については、地元町民の声を十分聞き進めていく。





笠原 秀樹 議員

いっば

所信の一端を問う

笠原

厳しい選挙戦で勝利された町長におめでとうを申し上げます。

支持、不支持があるのは当然であるが、職責の果たし方を聞きたい。

3月定例会で、町長は5つの所信の一端を述べられた。まだ、就任3ヶ月だが、具体的な進め方を問う。

町長

選挙は町の活性化を促すための手段であり、混乱させるために行われるものではない。

全ての町民に対して、公平に接することを政治信条としている。

所信の1点目「町民との対話、声を聞いて心のかよった政治」については、町民の声を町政に反映させていく。

2点目「町民が主役、女性も含めて幅広い人の参加で輝くまちづくり」については、情報をわかりやすく発信し、女性や若者が町政に気軽に参加できる仕組みづくり。

3点目「子育てが安心し

てできる、ぬくもりのある政治」については、子ども一人一人の育ちを支援するため、経済的負担の軽減や子育てができる環境の整備など。

4点目「商工、農林水産業の活性化、商店街支援」については、農業者の減少、後継者不足、耕作放棄地などの問題の解消等、木材需要の拡大と安定供給体制の確立等、商工業については、商工会及び越前焼協同組合と連携してワークショップ等の開催。

5点目「豊かな自然、歴史、伝統、味覚、観光産業の育成等」については越前二宮劔神社、山岳信仰の祖泰澄大師のゆかりの越知山、850年の歴史がある越前焼、日本の良好な漁場で水揚げされる新鮮な食材、各地域に点在する観光資源のネットワーク化等、現状と課題点を把握し、具体的な施策を提案していく。



ホッケー強化対策は

笠原

福井クラブが日本リーグに参加し、好成績を残しているが、年間の選手の負担金は28万円となっているが、少しでも負担を軽くできないか。

また、民間企業に勤める選手は試合に参加することが難しいとも聞いている。全選手がそろって出場できるように町からも企業に要請していくべきではないか。

町長

平成30年に越前町で開催される福井国体で上位進出が実現できるよう助成を行っている。

日本リーグ加盟の他の社会人クラブも年間3万円から36万円の選手負担金を徴収している。他と比べても選手負担金は決して高い方ではないと思う。

また、各種大会出場に対する理解を求めするため、福



小学校 週休2日制を見直す考えはないか

笠原

週休2日制が実施され10年が経過した。文部科学省はゆとり教育を実施する中で、地域との触れ合い、自ら学ぶ・体験することを目的としていたが、当初の方針どおりになっているのか。見直しの考えは。

教育長

これまでに、いろいろな課題が出てきたことは事実である。学習指導要領が改訂され、平成23年度より小

学校で、平成24年度より中学校で実施されている。学校、家庭、地域が連携して社会全体で子どもを育てることはこれまでと同様で、今後変わることはないと考え。

休日には自由な時間を有効に使う生活体験、社会体験、自然体験など有意義な体験を多く積んでもらい、生きる力を身につけてほしいと願っている。

現状に課題はあるが、県内の市町の教育委員会と足並みを揃えて対応していく。

ん質問



山本 清道 議員

TPPPに対する見解は

山本

平成23年11月、当時の野田首相は、TPP交渉参加への意向を示した。このことにより、歓迎の経済界と反発の農業団体との賛否両論となる一方、政府内にも積極推進論と慎重論が二分するという事態となり、TPP交渉への参加表明が延び延びになってきたが、ついに安倍首相が平成25年3月にTPP交渉参加を正式に表明し、実現の運びとなりつつある。

最終的に関税撤廃の例外を確保できるかどうかは、極めて不透明となっている。

また、農林水産省のTPP影響試算によると、関税撤廃を前提とした場合、農林水産業生産額で3兆円減少し、食料自給率が40%から13%に減少、雇用者数が350万人減少すると試算されている。

町長はTPPに対し、どのような見解を持っているのか。

町長

TPPについては、今年2月、安倍首相が、聖域なき関税撤廃が前提でない旨をアメリカ大統領と確認し、参加表明をした。

このTPP交渉参加の条件は、協定交渉中の11カ国全てから同意を得ることが必要で、3月末現在7カ国

農林漁業への支援策は

山本

越前町内の農林業に継続して携わる若者に、また農林漁業に対して支援策を考えているか。

町長

我が国の農山漁村をめぐる情勢は、農林水産物価格の低迷、消費者の安全・安心に対する意識の高揚、高齢化等による担い手不足など多くの課題を抱えている中、政府はTPPへの参加を表明するなど、大きな転換期を迎えようとしている。

農林水産業は、越前町の命と豊かさを足元で支える大事な基幹産業である。①今後、持続的に発展し、活性化させるために、農林漁業後継者の育成に努めていく。

②高品質・良食味な越前丹生米や水産物等のブランド化を確立していくとともに、本町で生産された安全・安心な農林水産物の付

加価値を高める事業等を展開していく。

③農林漁業生産基盤、生活環境基盤の整備により、生産性の向上と農林漁業の強化を図るとともに、施設の補修・補強の実施により、安心した農林漁業に取り組める環境を提供していく。

以上のような施策を展開するために、それぞれの地域で何が求められているのか地域の声を聞き、若

者を初め農林漁業に携わる方々が夢と誇りを持つて農林漁業に取り組んでいくことができるよう、元気で活力ある農林水産業の発展に向けて強力に支援していく所存である。

政府は、平成26年度新規事業等の創設により農業所得の倍増計画を表明しているが、越前町としては、今後とも国・県と一体として、農林水産業の支援の強化を図っていく。



いっば



木村 繁 議員

「人・農地プラン」の進捗状況とそのメリットは

木村

「人・農地プラン」、地域農業マスタープランは、5年から10年先に集落・地域の営農を担う中心的な経営体や農地集積、方法などを明確化して、新規就農などの支援対策として位置づける制度であるが、農水省の調査によると、プラン作成済み地域がある市町村は、84%に当たる1,312。地域単位で見ると、プラン作成地域数は、7,573で、43%にとどまる。

農業関係機関や農業者の代表者で構成する検討会を開催するとあるが、本町におけるプランの進捗状況とそのメリットについて、また、今後の方向性を伺う。

町長

今の農業は農産物の価格低迷や高齢化による担い手不足など厳しい状況にあり、後継者不足や耕作放棄地の増加から、今後の展望が描けない地域が多数存在している。

こうした中で、農業従事者が持続可能な力強い農業を実現するためには、地域での話し合いに基づき、人と農地の問題を一体的に解決していく必要がある。

当町の進捗状況は、農家組合長会議などで事業説明会を開催するとともに、各農家へのアンケートを実施し、旧町村単位でプランを作成し、平成25年3月に「越前町 人・農地プラン」検討会に諮った。

その結果、内容が適正であると判断され、全域をカバーするプランとして決定され、100%の進捗状況となっている。

メリットとしては、青年就農給付金の給付、農地集積協力金の給付、スーパール資金の無利子化といった支援を受けることができ、今後進められる国の助成事業はこのプランに位置づけられた中心的な経営体に優先的に助成することになるので、積極的に推進したい。

地域おこし協力隊制度は

木村

総務省が地域の活性化を目的とした地方自治体による都市住民の受け入れを支援する地域おこし協力隊制度について、この制度は、伝統芸能や盆踊りなどの復活、農林漁業の作業支援、水源や道路の清掃など、地域協力活動を担う制度として、近年、全国的に成果を上げています。

隊員は自治体が公募し、住民票を移して活動することが要件で、1年以上、最長3年支援する制度である。本年度の当初予算で138万3000円の予算が計上され、地域活性化の施策として期待の大きい事業であるが、進捗状況及び今後の取り組みについて伺う。

町長

この制度は、人口減少や高齢化などが著しく進む地方において、都市部の意欲ある人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることによって、意欲ある都市住民のニーズに応えながら地

方における地域力の維持・強化を図ることを目的とする取り組みである。

本町においても全国の多くの自治体と同様、過疎化という深刻な問題を抱えている。特に越前地区は国勢調査人口が約半世紀の間に半数以下へと激減し、集落機能が弱体化していることから、集落維持・存続が困難になることが危惧される。

また、本年度から越前地区の活性化を図ることを目的に、水仙ランドを核とした「ふるさと創造プロジェクト」を実施予定であるが、このプロジェクトの対象地区である上岬地区においても、人口減少や高齢化に直面しているため、地域おこし協力隊を派遣して地域活性化に向けての支援や地域のリーダーとして活躍していただきたいと考えている。

経過と今後の取り組みについては、地域おこし協力隊設置要綱を制定し、4月15日から6月17日までの約2ヶ月間、町や総務省の外郭団体である移住・交流推進機構などのホームページ

で協力隊の募集を行ったところ、2名の応募があり、8月中には最終合格者を決定したいと考えている。

委嘱は10月1日からとし、上岬地区に移住して、地域の実情に応じた維持・活性化に係る支援及び越前町への移住促進施策に係る支援等に取り組む予定。

活動終了後には、協力隊員が自力で地域に定住・定着できるよう、町としても生活支援や就職支援等を進めたい。

木村

協力隊員の応募の2名の男女別はどうなっているか。2名のうち1名を委嘱すると思うが、3年間、上岬地区の皆さんと協力活動後、ぜひ残っていたら、どうよう行政も特段のご配慮と努力をお願いしたい。

町長

男性2名の応募である。地域協力活動を通して支援を行いながら、定住していただけるよう努力していく。



伊部 良美 議員

いっばん質問

道路網の整備促進は

伊部

町村合併以来、越前地区の道路網整備は全く進まなかったと考える。
通学、通勤の利便性や、観光誘客に期待をかける越前町にとって待ったなしの課題である。
今後、国・県に対して強く要請されることを期待するが、町長の所見は。

町長

町としても国・県に対して道路網の整備について強い要請を行い、鋭意取り組んでいるところであるが、国・県の道路関係予算は非常に厳しい状況にあり、また、越前地区の道路改良における用地の確保も困難を極め、なかなか整備が進まないのも現状である。
未着手路線の整備促進に

については、国・県に対して強く事業化を要請していく。
特に国道305号や365号は越前地区住民の生活道路であり、水産業や観光産業のための基幹道路でもある。
さらに、災害時の緊急避難道路として大変重要な路線であるので、各期成同盟会や丹南広域組合等の組織による要請活動も活用しつつ、町独自で知事や地元選出県会議員、さらには県選出国会議員へも積極的に働きかけ、事業の推進を図っていく。

入札談合事件のその後は

伊部

町の上下水道工事の入札談合事件では、一定の期間の入札参加の指名停止処分を受けたが、6月4日付をもって指名停止期間が解かれ、再び入札参加の指名を受けられることになった。
公共事業請負契約約款に基づいて処分が行われたと思っているが、まだであるならば、いかに対応するのか。

町長

越前町工事請負契約約款に基づく処分として、刑が確定した後、平成24年5月7日までに賠償金として2件の工事を受注した2社から、工事金額の10分の1、88万7,800円を徴収した。
今後もルールに従って対応していく。

行財政改革の取り組みは

伊部

合併10年を迎えるに当たり、施設等の管理運営に苦慮してきたと思うが、いまだ度将来に向かって町民の理解を求めながら、活力ある越前町の未来像のまちづくりにも勇気と決断と実行を目指し積極的に取り組む考えはないか。

町長

と見込まれているので、今後とも強力に行財政改革を推進していく。事務事業の見直しによるスリム化に努め、職員数の削減により定員管理の適正化に努める。また、公共施設については、行政が管理運営する必要があるかどうかを根本的な視点から見直しする。

財政面での取り組み

は、平成27年度から開始される普通交付税の合併算定替の段階的縮減の前に歳出構造を見直しするとともに、平成32年度からの一本算定による普通交付税の大幅な減少に備えて、新規町債の発行抑制や実質公債費比率等を適正に管理し、特別会計及び事業会計を含めた連結ベースでの財政の健全化に努めながら、活力ある越前町のまちづくりの実現に向けて持続可能な財政構造を構築していく。

町長

合併特例期間の終了に伴い、将来的には現在に比べ13億円もの普通交付税が減少する

旧町村の施設については、建設の経緯や地元住民の声を十分に踏まえて地域の実情に合った利活用に努め、住民の生活の質の向上を目指していく。

介護施設が不足しているのでは

伊部

越前地区にある特別養護老人ホーム海楽園の入所状況は、定員65名、シヨートステイ14、5名で、ここ数年はいっばいの状態である。今後海楽園だけに依存することは到底無理ではないのか。早急に対応策を講じなければならぬ問題かと思うが、町長自身、どのように考えているか。

町長

サービスマン利用料の1人当たりの平均給付月額を比較すると、在宅サービスは9万7000円、施設サービスは28万9000円とい

うことで、施設サービスは約3倍の費用がかかり、施設サービスが増えると、65歳以上の介護保険料も必然的に上がるという仕組みになっている。
近年の経済情勢や年金の受給が保障されるかが不安な状況の中では、高齢者の負担が増えるのを避けるため、介護保険料はできるだけ抑えたいと考えている。
介護予防や若いときからの生活習慣病予防などに力を入れ、認知症や寝たきりにならない施策を進めるとともに、今後の動向を見きわめて施設整備の同意あるいは地域密着型施設の指定について前向きに検討していく。



総務文教厚生常任委員会 視察研修報告書

委員長 木村 繁

6月28日(金)～29日(土)委員8名が視察研修を行いました。

敦賀原子力発電所から準立地に位置する本町では、原子力発電の安全性やこれからどうなっていくのかに注視してきましたが、今回は自然環境の中で無限に繰り返し利用できる太陽光発電に目を向けることとし、町営の太陽光発電所を有する鳥取県日南町を訪れました。

また、日南町議会の議会改革への取り組みについても研修しました。

再生可能エネルギーの活用

日南町では、福島第一原子力発電所の事故を機に、平成23年12月議員発議による「日南町再生可能エネルギー利用促進条例」を制定しました。この条例には、
・町の責務…環境の保全及び低炭素社会構築と経済活性化に向け、再生可能エネルギーの導入に率先して取り組む。

・町民の責務…省エネルギーや再生可能エネルギーの活用に努める。

と謳われています。

そして「日南町地域新エネルギービジョン」(平成14年策定)に基づき、平成24年12月旧小学校跡地に「日南町石見東太陽光発電所」を建設しました。

ソーラーパネル1,428枚を使用し、年間推定発電量約27万kwhで、一般家庭約75世帯分の年間電力消費量に相当し、年間約6万ℓの石油を節約、約85トンの二酸化炭素を削減できるということです。

なお、日南町では建設費用の一部を町民が負担することによって、再生可能エネルギーへの関心が高まり、町の財源にも役立てようと「再生可能エネルギー町民債」を発行しました。



石見東太陽光発電所



ソーラーパネル

議会改革に関する調査特別委員会設置

・H13年3月から設置までの経過

一般質問の「一問一答方式」の採用／議員定数の削減／議員報酬・期末手当の削減(特例減額)／政治倫理条例の制定／本会議のテレビ中継・録画放送／電子メール・FAXによる公文書の送受信／常任委員会・特別委員会及び全員協議会の公開／執行部の反問権の採用

・設置 平成23年6月21日

・活動実績

議会改革について町民の意見を聞く会実施／傍聴者に議事日程、一般質問答弁要旨を配布／議案・説明資料の本会議場内での貸出／報酬条例改正(長期欠席議員の報酬減額)／議案概要を町ホームページで公開／議会報告会実施／委員会室の録画放送開始

・検討中の事項

議会基本条例の制定(H25年9月議会発議予定)

町産材99%利用の木造庁舎

林業の町をアピールするため、町産材を99%使用。

建築にあたっては、議会と共に全戸アンケート調査を行い、公募委員を含めた町民による庁舎建設検討委員会や議会など多くの意見・提言を受け「町民に親しまれ集いやすい」「防災対応」「情報化」「環境に優しい」4つのキーワードで建設を進めました。

平成12年10月の鳥取県西部地震による教訓から災害時の避難所となるロビーには床暖房が完備され、多くの住民が避難できるよう配慮されています。



災害時の避難所となる庁舎ロビー

研修を終えて

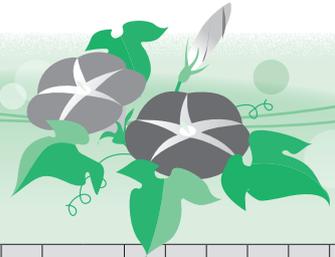
地方分権一括法の施行に伴い市町村合併が進んでいますが、単独町村を選択した日南町。過疎化、高齢化が進行する中、町の特徴を活かし行政と町民と議会が一体となって「創造的過疎のまちづくり」を進めています。

また、議会においてもテレビ放映による情報公開、議員発議による条例制定、議会報告会を開催するなど、町民と一体となっていると感じました。

越前町においても今回の研修で得たこと活かして議会活動を進めていきたいと思っています。

議会の動き

(4月16日～7月15日)



7月16日(火)	議会広報特別委員会
7月13日(土)	越前夏まつり2013
7月12日(金)	福井県町村議会議長会臨時総会
7月5日(金)	議会広報特別委員会
7月3日(水)	町議会広報研修会
7月3日(水)	福井県原子力発電準立地市町連絡協議会中央要請
7月2日(火)	
7月1日(月)	越前夏まつり2013海開き神事・豊漁祭
6月29日(土)	総務文教厚生常任委員会研修(鳥取県日南町)
6月28日(金)	
6月25日(火)	鯖江・丹生消防組合議会臨時会
6月21日(金)	議会広報特別委員会
6月20日(木)	6月越前町議会定例会
6月19日(水)	6月越前町議会定例会
6月18日(火)	6月越前町議会定例会
6月7日(金)	議会運営委員会
6月7日(金)	議会運営委員会
6月3日(月)	議員月例会
5月30日(木)	福井県町村議会議長会臨時総会
5月29日(水)	第38回町村議会議長・副議長研修会
5月28日(火)	
5月25日(土)	第33回越前陶芸まつり開催式
5月19日(日)	鯖江・丹生消防大会
5月16日(木)	嶺北町議会議長会総会(議長)
5月13日(月)	丹南地区市町議会議長会総会(議長)
5月13日(月)	議会運営委員会
4月26日(金)	第2回越前町議会臨時会

9月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

編集後記

越前夏まつり2013、第38回あさひまつりも盛大のうちに終了しました。また、お盆過ぎには「O・T・A・I・K O響2013」が開催されます。平和な日本だからこそ感謝したいものです。

「議会だより」も少しでも多くの町民の方々に読んでいただくために分かりやすく、難しい行政用語を少なくして編集していきます。今回は初めての企画として「新町長に聞く」を掲載してあります。興味深い内容になっていきますので、ぜひご覧ください。

議会だよりや広報えちぜんから正しい情報を吸収していただき、町政や議会に対して温かく、また、厳しいご意見をお聞かせくださるようお願いいたします。

さあ、夏本番です。いつにも増して厳しい暑さの今夏ですが、夏バテしないようにご自愛ください。(佐々木)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 笠原秀樹 |
| 副委員長 | 伊部良美 |
| 委員 | 吉村春男 |
| | 北島忠幸 |
| | 青柳良彦 |
| | 齋藤一穂 |
| | 佐々木一郎 |
| | 田中太左門 |

表紙「議会だより」の文字を広報委員が交代で書くことになりました。町民の皆様にも少しでも親しんでいただけるようにとの思いが込められています。今回は笠原委員長です。

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/info/result.jsp?category_id=187